

2020年師走となりました ～コロナ禍が教えてくれること～

仲嶺 真弓

今年は、コロナ禍で、想定外の対応に追われる日々でした。第三波がきているので気は抜けませんが、当たり前にしてきたことの全てができなくなった今だからこそ、自分たちが何を大切に、これからも大切にしていきたいのかを問い返す機会となりました。

コロナ感染症とどう付き合っていくのかまだ確実な手立てが見つからない中、不安からかマスクをしない人や、県外ナンバーの車を見つけると、目に映る姿だけで「ルールを守れない人」と見えてしまう事に一抹の不安がよぎります。その人なりの事情があるかもしれないことを想像しづらくなっているのかと…。けれど、そう思っただけのもの、コロナ禍で我慢を強いられることばかりで、ルールを守っている者からすると「なぜ?!」と腹立たしく思う気持ちになっていたのでしょうか。そう思うと、このコロナ禍で、今一番必要なことは、相手を責めることではなく、知ろうとする事、想像する事が必要ではないかと思うのです。きっと大多数の人がそんな思いを抱えているのではないかと想像します。保育園でできることは小さなことで、職員もまだまだ未熟で言葉足らずなことも多々ありますが、子どもだけでなく大人も育つ保育園であり続けたいという理念は変わらず持ち続けたいので、保育園での一つひとつの関りが、知り合いながら理解し合える関係作りに繋がればと思います。



第三波新型コロナウイルス感染症拡大防止対策へのお願い 園生活での注意事項（12月1日現在）

登園・降園時のお願い

全クラス、家庭で毎朝検温し、日報に記載してください。

- ① 保育室での朝・夕の用意のための保護者の入室は、できるだけ少人数・短時間の滞在でお願いします。また、体調が優れない場合は保育室に入らず、入り口で保育士に声をかけてください。
- ② 保育室に入室する際には、マスク着用。手指消毒用アルコールを使用してください。

子どもの熱や咳、便の異常などの症状への対応

発熱がみられた場合、解熱後 24 時間経過して全体症状が改善傾向になるまでは登園を控えてください。

- ① 保育中に37度5分以上の熱が見られる場合だけでなく、呼吸器症状（ゼーゼー・ヒューヒュー）、下痢や軟便が複数回続くなどの症状が見られたときには、いつもより早めにお迎えの連絡をさせてもらいます。
- ② 兄弟・ご家族の体調不良などの情報も必ず伝えてください。ご家族が職場などで濃厚接触者となりうる可能性がある場合も必ず伝えてください。

◎今後の園行事について

年間行事記載されている行事は、飲食に関するもの以外は、懇談会を含め原則開催します。

感染対策を講じ、時間をずらすなど、小規模になるよう工夫した開催を考えています。但し、緊急事態宣言が再発令される、もしくは町より休園要請が出た場合などは中止することがあります。その際は、さくら連絡網を通じてすみやかに各家庭に連絡いたします。

◎行事参加の方で当日少しでも体調に不安がある人は、無理せず休んでいただくよう、お願いします。

◎状況を踏まえ、高齢者や基礎疾患のある方で感染すると重症化するリスクが高いと考えられる方は各家庭で参加・不参加を判断してください。

◎日々の保育見学・保育参加について

希望される方は、前もって担任・事務室にご相談ください。可能な限り受け入れていきたいと思っています。但し、緊急事態宣言が再発令されるもしくは町より休園要請が出た場合、希望人数が多い場合などはお断りすることがあります。